

競技上の注意（団体戦）

審判長：沓内 惇矢

<ルールについて>

- 1 新型コロナウイルス感染症対策として、本大会は次の事項を設ける。
 - (1) 試合前後の握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
 - (2) チェンジエンドは行わない。
 - (3) ゲーム中のアドバイス等は向き合わず、同じ方向を向いて行う。
 - (4) 複数コートのボールの混在を避ける。
(ボールが競技領域外に出た場合、選手自身で拾いに行き、他コートの選手等が拾わない。)
 - (5) 大会中に大きな声で会話、応援等をしない。
 - (6) 競技中以外はマスクを必ず着用し、ソーシャルディスタンスを保つ。
- 2 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 3 タイムアウト制を採用する。ただし、1マッチに1回、1分以内を厳守すること。
- 4 公認のユニフォームを着用し、チームで統一する。また、日本卓球協会ゼッケンを着用すること。
- 5 競技方法は予選リーグ・決勝トーナメントともに4単1複の3点先取。ダブルスで出場する選手はシングルスにも出場できるが、1・2番同士のリレーでダブルスに出場することはできない。
- 6 ダブルスの最終ゲームにおいてどちらかが5点に達したとき、レシーバーの交代を行う。また、タオルの使用も可能。

<進行について（別紙）>

- 1 タイムテーブルをもとに、放送によって試合コートを指定して進行する。
(あくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。)
- 2 オーダー提出は、1日目第1試合がある女子は8：45、男子は12：55までに、2日目の第1試合がある学校は8：55までに、第2試合以降は対戦予定校が決定次第、速やかに本部へ提出すること。
- 3 原則、相互審判とする。その他、本部の指示に従うこと。
- 4 1日目は男女とも予選リーグの全試合、2日目は1位・2位トーナメントおよび1位トーナメントベスト8校による順位決定戦の全試合を実施する。

<予選リーグについて>

- 1 予選4チームグループは使用台を固定する。予選3チームグループはできる試合を優先してコールする。
- 2 最初にダブルスを実施し、その後シングルスで4台展開により4試合同時に実施する。
- 3 オーダーの上から順に3点が決まった時点で、残りの試合は終了すること。(4番によって3点が決まった場合でも、1～3番が終了していない場合はその試合が全て終了して試合記録とする)
- 4 リーグの最終順位を確認して、更衣後は速やかに退館をすること。

<順位決定トーナメントについて>

- 1 1位・2位決定戦の1回戦を優先して実施し、その後はできる試合を優先してコールする。
- 2 最初に4台展開によりシングルス4試合を実施し、マッチカウント2-2の時のみダブルスを実施する。(シングルス4試合で、3点が決まった場合はその時点で終了すること。)
- 3 1位トーナメントのベスト8校はトーナメントにより1～8位まで順位をつける。

<その他>

- 1 本大会は、10月に開催される「第67回広島県高等学校新人卓球大会（学校対抗の部）広島地区予選兼第49回全国高等学校選抜卓球大会広島地区予選」のシード資料とする。